

はあもにい第39号

- ・発行日 2014年4月10日
- ・発行 多機能型事業所ポプリ
生活介護事業部
- ・編集 機関誌「はあもにい」
編集委員会
(0144) 87-3800

理事長挨拶

白老町には例年はない寒波と大雪。漸くにして春の日差しが感じられることとなりました。

前小田井理事長の後任として一期二年の役員の改選を受けて、再び理事長の任に当たることになりました。この間、生活介護事業所「みらいえ」の建設・落成式、ケアホーム「のあ」の新築開設等、大きな事業を推進してまいりました。

これも偏に法人評議委員の方をはじめとする役員の方々のご理解ご支援の賜と感謝を申し上げます。平成26年度は、職員スタッフの陣容も充実し、新体制の中で利用者のニーズに応えるよう十分に配慮しつつ、職員の研修を深め、事業転換の意義を重視しながら福祉の充実に努める所存ですので、今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。新年度にあたり法人役員並びに地域関係者の方々のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

社会福祉法人 白老宏友会 理事長 森 豊吉



地域生活支援センター
あぷろ第2支援課

ケアホーム「のあ」開設！！



外観写真



居間・食堂写真



居室写真

30年目の春を迎えた、当法人白老宏友会の今年度の新規事業の一つがケアホーム「のあ」の開設です。平成24年3月に、入所更生施設の地域移行により、7名定員5棟のケアホームが誕生してから2年が経過。その間に個室・小規模でアットホームな住環境の中、落ち着いた生活を実現してきました。

新設「のあ」では、18歳から20歳までの若く元気な利用者が集まりました。本人・保護者・事業所側及び、支援者は、それぞれ開設に向けて、気持ちを込め様々な準備を行ってきました。メンバーさん、新しい我が家・マイルームで日中事業所に通いながら、楽しい生活を始めてまいりましょう。地域の皆様、よろしく申し上げます。

地域生活支援センターあぷろ センター長 田野島 靖

利用者さん スポットライン

利用者さんに突撃！！Q&A！！

竹林真里さん切り絵展

Q1、みらいえでは、どのような活動をしていますか？

A、割り箸の袋詰めや切り絵を行っています！！

Q2、題選びのポイントは？

A、季節に応じた作品を作る事が多いです！！



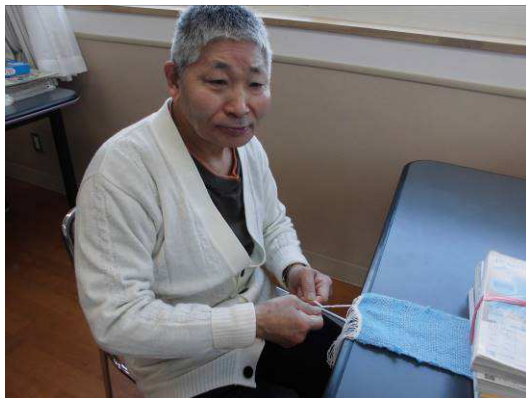
長谷川久元さん手織り作品展

Q1、みらいえではどのような活動をしていますか？

A、館内の清掃や手織りを行っています！！

Q2、タペストリーの制作期間は？

A、1週間くらいです！！



笹森英之さん



愛泉園の働き者！

愛泉園の椎茸、入浴剤作業に携わってくれている笹森英之さん。彼はお茶目な性格を持つ一方で、作業では椎茸、入浴剤を製品にする最終工程を担ってくれています。手つきも職人のようです。今後も愛泉園の職人は頑張ってくれるでしょう。

生活介護事業所 愛泉園 生活支援員 松崎 潤



生活介護事業所「愛泉園」

新任施設長挨拶

平成26年1月1日付で生活介護事業所「愛泉園」の管理者を拝命いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。昭和59年4月入所更生施設として開設された「愛泉園」は、平成24年3月多機能型の日中活動支援事業所として再スタートし、昨年には生活介護事業所(定員20名)として運営を行っております。長い歴史の中で、非力の私が携われるのは僅かではありますが、小規模事業所として求められているものを具現化してゆくことが、これからの愛泉園が担うべき課題であると考えます。これまで歩んできた道のりに関わってきた多くの皆様へ改めて敬意を表します。人が生を受け、多くの方に祝福され、その人だけの人生を歩んでいく中で、生きる証を共に見つけるために私たちができることをこれからも皆様のお力をお借りして進んで行きたいと考えます。

生活介護事業所 愛泉園 施設長 明實 昭市

新利用者紹介

うえむら たいち
植村 太一さん 室蘭養護学校出身

平成26年度から、愛泉園に新しい仲間が一人増えることになりました 植村太一さんです。平成7年12月30日生まれの18歳。3月17日から利用開始しています。これから一緒に頑張りましょう。

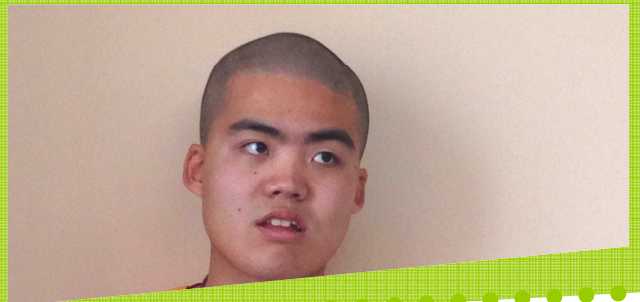


多機能型事業所「ポプリ」

新利用者紹介

たかはし いっぺい
高橋 一平さん 新篠津養護学校出身 生活介護事業部配属

ハキハキとした声が印象的で、元気いっぱいの高橋一平さん。色々なことに興味・関心が強い性格の持ち主。4月からのポプリでの生活は、高橋さんにとっては、気になることがいっぱい。色々なことを皆さんに質問すると思います。高橋さんに質問されたときには、優しく元気な声で答えてあげて下さいね。



たるもと ゆうや
樽本 優也さん 室蘭養護学校出身 生活介護事業部配属

明るい笑顔が印象的な樽本優也さん。4月からポプリの新しい仲間に加わりました。とても人懐っこい性格で、皆さんもすぐに仲良くなれると思うので、樽本さんを見かけたら、是非、声をかけてあげて下さいね。

生活介護事業部

ホワイトデー企画 創作活動「パウンドケーキ作り」

3月14日(金)は、ホワイトデー！ポプリ生活介護事業部では、ホワイトデー企画ということで、3月11日(火)・12日(水)に、パウンドケーキ作りをしました。今回のパウンドケーキに使用した材料は、アイスとホットケーキミックスと無塩バターだけ！ふんわりとして美味しいパウンドケーキが出来上がりました。そして、自分達で作ったパウンドケーキにメッセージカードを添えて、それぞれ日頃からお世話になっている人に感謝の気持ちを伝えました。

多機能型事業所 ポプリ 生活支援員 松野 裕一



生活介護事業所「みらいえ」

雪灯りの道 ～アイスクャンドルの光～

みらいえでは、2月8日一夜限りの「雪あかりの道・アイスクャンドルナイト」が行われました。1月下旬よりキャンドル作りに着手しましたが寒暖差の影響を受け、凍りかけては解けてと繰り返し…「良いところまで出来ているのに!!」と悔やみつ、試行錯誤の結果2月上旬、無事に60個の透き通った綺麗なアイスクャンドルを完成する事が出来ました。当日、利用者の皆さんには一度帰宅して頂き、日没を向えキャンドルに火が灯った頃、観賞して頂きましたが、至る所から「きれい」と幾つもの感動の声が聞かれ、皆さんの心にも明るい灯火がともったように感じました。作成を手掛けた職員も嬉しく感じたと思います。60個の灯火がみらいえ、はぁもにい周辺を彩る、素敵な一夜となりました。

生活介護事業所 みらいえ 栄養士兼支援員 竹田 素子

いざ!!
札幌雪祭り!!

2月5日・6日二日間に渡り、第65回さっぽろ雪祭りの見学に2班体制で出かけました。さっぽろ雪まつりの今年の来場数は240万2千人。240万を超えるのは平成23年に開催された時、以来3年ぶりのこと。見学の日は天候にも恵まれ、冬のドライブ日よりとなりました。今までありそうでなかった雪祭りの見学。広い会場を安全・安心に見学できることを考え、見学方法は人ごみの中を歩かず、大通公園の会場をバスで周遊し車内からの観覧となり、少し見づらい部分はあるものの、それでも大雪像は車内からでも十分見えるサイズ。見学後は、1班は羊が丘展望台、2班はサッポロビール園で昼食を摂り、楽しい日帰りドライブコースとなりました。

生活介護事業所 みらいえ 支援係長 一間 新平



新しい仲間の紹介



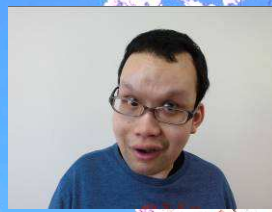
舩澤 勇さん

平成26年1月28日
より利用開始



中山 千久馬さん

平成26年2月5日
より利用開始



加藤 将司さん

平成26年3月12日よ
り利用開始



白岩 諒真さん

平成26年4月1日
より利用開始



小和田 寧々さん

平成26年4月1日
より利用開始

地域生活支援センター あぶろ第1支援課

青葉会新年会



1月25日(土)、利用者47名、職員22名、合計69名で、今年もホテル・ほくようで新年会が行われました。前回までは職員が考えていたゲームなどを取り入れていましたが、今年は3ハウスからの催し物がありました。桜丘ハウスから田中さん、秋山さんの雑学王、大町ハウス・すすらんハウスからは曲に合わせてのダンスやよさこい。また、後半のカラオケ大会には他の皆さんも積極的に参加していました。ステージで踊る人、自分の歌はまだかと順番待ちが相次ぎ一番しか歌えない人、カラオケリクエストに答えてフルコーラスで会場をわかしてくれた利用者さんもいて大変盛り上がりしました。

地域生活支援センター あぶろ 生活支援員 大原 和秀



第1支援課 3月8日 あぶろ東町センターにて



調理実習

あぶろでは、休日などの余暇活動として調理実習や料理教室を行っています。いつもは、自分たちで料理をすることはありませんが、みんな楽しみながら参加しています。地域生活支援センターあぶろ 支援課長 高井 勝治



第2支援課 2月8日 ケアホーム いころ



第2支援課 2月11日 ケアホーム のんの

社会福祉法人 白老宏友会 平成26年度事業運営方針

はじめに

白老宏友会は、社会福祉法に定めるところの地域福祉の推進という方向を見定め、平成24年2月に入所施設「白老愛泉園」を廃止し、国の基礎整備事業を活用し、用途の変更で内部改修を行い、日中支援事業の多機能型事業所「愛泉園」（生活介護、就労継続B）の運営に切り替えた。

生活の場を地域の中に移行し、5棟のケアホームを建設し法人運営の拠点として共生型事業や短期入所事業の運営に兼ね備えた本部の建設に合わせて、従来のグループホームの整備等を実施してきた。

平成25年度には、重い障がいを持った方々の地域生活を支えるニーズにこたえるべく日中支援の拡充として、新たな生活介護事業所「みらいえ」を4月1日より事業開始した。また、共同生活介護住居の入居希望があり、7名定員の共同生活介護住居を建設した。これによって、白老宏友会は多機能型事業所「ホプリ」（定員60名）、生活介護事業所「愛泉園」（定員20名）、新生活介護事業所「みらいえ」（定員40名）、共同生活介護・援助一体型事業所「あぶろ」（定員GH50名・CH42名）、共生型事業「はあもにい」の5つの事業運営の展開を図ることとなる。

法人経営としては、障がい者ニーズに沿った経営プランをもって組織のガバナンス、コンプライアンスの意識を充実していくことに努めていくものとする。地域の中で普通に暮らすための職住分離の環境整備を整えてきたノウハウを以て、今後はさらなる地域生活のQOLに対する支援課題を整理し、地域福祉の目指すものを追いついていく法人運営に努めていくものとする。

1. 法人運営理念と経営理念

（運営理念）

人と人が尊重し合い 地域の中で普通に暮らせる
安全で安心な生活を支え 自立意識の共生を努める

（経営理念）

サービスの向上に努める
人材の育成に努める
地域との交流に努める
柔軟な事業に努める
情報の発信と共有に努める
自立した経営に努める

2. 運営の推進

① 財政運用

各事業所の財政基盤の確立
各種加算及び定員増の活用

② 配置職員の確保と育成

サービス管理者の育成

資質向上のための研修機会の提供
資格取得のための支援（休日の付与、費用の補填）

地域生活支援センター あぶろ 事業計画

平成26年4月1日より共同生活援助事業に統一される、地域生活支援センターあぶろの事業は、比較的自立度が高い中軽度を中心とした従来のケアホーム・グループホームの形態を持った第1支援課と、チーフを中心としたスタッフ体制により24時間支援型（ケアホーム）の第2支援課との体制に整備して参りました。利用者個々の特性に応じた編成により情緒面の更なる安定を図り、小規模住居での生活によるアットホームな暮らしと、その支援を実現してまいりました。

第1支援課は、世話人通勤型のホームが中心で1ヶ所に夜間支援を備えた共同生活住居での支援となり、入居利用者は自らの行動が多く、相談支援の訪問や外出、それらに伴う諸問題の対応、金銭管理・健康管理面の支援、日中活動事業等との連絡調整、大小規模各行事等の実施や支援などに即したサポートを行ってまいります。今年度新設ケアホーム「あ」を開設する第2支援課は、のチーフを中心としたスタッフ体制により、利用者の生活全般を支えてまいります。より円滑な支援体制を図るべく川沿地区（共同生活住居・3か所）と東町地区（同・3か所）を統括する体制のもと、障がい特性による対応の個別化、広汎化、高齢化による身体機能への配慮、個別対応などの重要性を認識しながら、生活日課・日常生活動作（ADL）支援、保健医療面での支援、毎日の給食提供支援、日中活動事業等との連携や余暇支援など配慮した内容で実践してまいります。

また、平成26年申請中の国庫補助の認可により平成27年度開設予定のケアホーム「かい」の準備・建設に向けての業務を行ってまいります。

なお、法人本部の拠点をもち、高齢者・障がい者・児童・地域住民が交流を深め共に生きる活動の場としての「共生型事業所はあもにい」についてはその役割を担い、短期入所事業サービスを併設、その運営を行ってまいります。

個人が尊重され、安心して、安全な生活が営めることで「生きてる」実感を社会の一員として共生することを理念として実践してまいります。

〔第1支援課 運営方針〕

- （1）障がい者総合支援法に基づく事業の推進
- （2）地域生活支援センターあぶろの支援体制（2課体制）
- （3）日中活動事業等との連携
- （4）保健医療関係支援
- （5）給食支援事業計画
- （6）自治会・余暇活動支援
- （7）職員研修及び運営管理
- （8）相談支援事業実施の為の研鑽

〔第2支援課 運営方針〕

- （1）障がい者自立支援法に基づく事業の推進
- （2）地域生活支援センターあぶろ第2支援課の支援体制（2課体制）
- （3）日中活動事業等との連携
- （4）保険医療関係支援
- （5）給食支援事業計画
- （6）余暇活動支援
- （7）職員研修及び運営管理
- （8）相談支援事業等の研鑽

障がい福祉サービス事業

生活介護事業所

愛泉園

事業計画

生活の主体者である人たちが、画一的な価値観を押し付けられて「個」の尊重を蔑ろにされることなく、生きる喜びを享受できるように配慮しなければなりません。私たちが支援する人たちも、それぞれの個性を持っています。私達は、共生者であるという意識を持ち、お互いを理解することが大切であり、「個」を尊重しライフスタイルに沿ったケアプランを押し進めることが大切であり、それぞれ「らしく」生きることを見つけ出し、実践することが私たちの支援の在り方であると考えます。

運営方針

- 1、障がいの軽重にかかわらず、人として生きる営みに対して、愛泉園は利用者が望む必要な支援を行う。
- 2、人権を無視するようないかなる行為の禁止、利用者の人格を尊重し、生きる喜びを共に享受できるように支援を行う。

支援方針

- 1、個別支援計画に基づき、A D L支援に加え創作活動、レクリエーション活動、生産活動を通じ心身ともに健やかな生活を送るよう支援する。
- 2、個別支援計画に基づき、個々が有する能力や希望により、生産活動参加への機会を提供し、より高い就労環境にも適応できるような環境づくりを進める。

障がい福祉サービス事業

多機能型事業所

ポプリ

事業計画

平成26年度より消費税の増税や原材料の値上がりなど授産活動における経済環境は厳しさを増すと予想されますが、就労継続支援B型事業で働く利用者の工賃確保をめざし、「ななかまど」店舗の内外装工事や最新型のオーブン導入による新たな菓子製品開発など、今後の5年、10年先を見据えた魅力ある店舗作りを目指します。

生活介護事業部においては、利用者個々のニーズを受け止めながら、更なる活動の充足を目指し、「楽しむ・創造する」をテーマにチャレンジをしていきます。

ポプリ本体の建物については、塩害や老朽化による大規模修繕の時期が迫っているため、今後の社会情勢や維持管理コストの研鑽などを行い修繕計画の策定を進めていきます。

Ⅰ、運営方針

- 1、ポプリは利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から必要な支援を適切に行うものとする。

- 2、ポプリは事業所利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って支援サービスを提供するように努めるものとする。

- 3、事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健、医療、福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービス提供に努めるものとする。

Ⅱ、支援方針

- 1、就労継続B型事業サービスは、個別支援計画に基づき利用者へ作業や生産活動の機会を提供し、作業知識及び技術、社会性の向上に向けた支援を行う。また、より高い工賃の支給を目指したサービス提供と質の向上を図っていく。さらに、一般就労希望の利用者に対する職場実習等の訓練機会が提供できるよう支援する。

- 2、生活介護事業サービスは、個別支援計画に基づき利用者へ簡易な生産活動及び創作活動、レクリエーション等を中心とした日中活動を行い、心身の安定と共に利用者個々が楽しめる活動を実施する。

障がい福祉サービス事業

生活介護事業所

みらいえ

事業計画

1、はじめに
昨年4月に、法人の地域移行推進計画に合わせ、利用者状況や利用者ニーズに対応すべく、新たな生活介護事業を新設し「みらいえ」という名のものに一年を経過するに至った。利用者39名のスタートには、数か月前から事前情報を的確に収集し、綿密な受け入れ計画を進め、生活介護事業の方針に沿ったサービス内容の構築を始め、個々のニーズに応えるべく思想錯誤してきた。昨年度契約解除者3名と契約者6名、新年度契約者2名という計44名の利用者での新たなスタートを迎えることになった。

個別支援計画は、生活活動や療育活動、さらには行事活動などのプログラムの充実を加速させ、生活介護事業の持つニーズ範囲を広げ、スタッフのスキル向上と事業の理解を深め、職員一人ひとりのモチベーションが上がる職場環境作りにも配慮していきたいと考える。

さらに、地域に根ざした存在を示していく上で、地域に潜住する利用者ニーズにも行政との相談支援に対応し、契約利用者を利用の最大目標に安定した経営の基、安心で安全な運営にあたらな二歩目を着実なものにしたいと考える。

2、運営基本方針

事業者（事業所）を運営する者。以下同じ。）は指定生活介護の実施に当たって、利用者各自が自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的活動または生産活動の機会を提供し、その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

事業者は、指定生活介護事業等の実施に当たって、地域及び家族との結びつきを重視した運営を行うことを旨として、市町村、指定障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者と密接な連携を図るものとする。

障害者自立支援法に基づき指定障害者福祉サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準、その他の関係法令を遵守し、事業を実施するものとする。

3、支援方針

- ①、利用者、家族の思いを大切にしたい支援。

- ②、利用者個々の歩みや人格を大切にしたい支援。

- ③、小さな変化や声無き声を感じとり、豊かな未来へつながる支援。

4、活動概要

【多彩な活動内容の構築】
利用者ニーズの範囲を広げるべく、個々の個性、獨創性、積極性・見出していくため、多彩な活動内容を構築、選択し、意欲的に参加できるように支援する。

- 1) 創作活動、レクリエーション
季節にあわせて行事や創作活動の他、個々の利用者のモチベーションや趣向を考え個別な活動を取り入れる。

また、四季を感じとれる野外活動や地域の社会資源（体育館等）を活用したレクリエーション、隣接する共生型事業所「はあもい」での行事等も組み実施していく。

2) 療育活動

障害特性、年齢等加味し、運動不足の解消できるように利用者のできる稼動範囲の運動プログラム（エアロビクス・ヨガ・ダンス・ボール・スクルト）を季節に応じて構築し、楽しみながら意欲的に活動に参加していただき、基礎体力の維持、体内バランスを保つことを目的に実施する。

3) 音楽活動

楽器（電子ドラム・ギター等）に携わることの楽しみや、演奏、歌唱を通して音楽を楽しむ協調性や、連帯感等、感受性を高めることを目的として実施する。また日常の活動の成果を行事発表する場を設けて対応する。

4) 余暇活動

定期的な余暇活動を実施する。カラオケの実施や、利用者の好みに応じた映画鑑賞を定期的に実施する。なお余暇活動として実施する内容については、この活動内容だけに限定せず、利用者のニーズ等を加味し、必要に応じて活動を増やしていくことも検討していきたいと考えている。

5) 園芸活動

ビニールハウス栽培にて、野菜を栽培し、管理作業から、収穫、販売まで一連の作業を行い、作る・収穫の喜びや、食べる喜び、毎年開催されている近郊野菜市にて販売行い地域とのつながりを持つ事目的の一つとして実施する。なお近郊野菜市での売り上げは、原材料費を除いた収益を工賃還元する。

6) タイヤ交換事業

年2回（春5月上旬・11月上旬）にわたり、法人内職員私用車のタイヤ交換を行い、収益について利用者工賃に充てる。

ご厚志

ありがとうございます。

寄付者及び寄贈者

(平成26年1月1日〜平成26年3月30日)

白老健康福祉課様、北海道工ア・ウォーター様、小原製麺様、手塚石油様、北原明知様、糸川信正様、滝吉公雄様、本多忍様、白老町社会福祉協議会 会長堀部登志雄様、こんや様、菅原陽子様

各施設の動向

愛泉園
12月25日 クリスマス会
1月6日 新年会
2月8日 DVD鑑賞会
3月3日 雛祭り
12月13日 白老中学校餅つき
生活介護 クリスマス会
パン工場・給食事業 クリスマス会
ななかまど・清掃部 クリスマス会
札幌地下歩行空間販売
年末餅つき 30日
ななかまど店舗 初売りセール
1月6日 ポプリ仲間の会・家族の会合同新年会
札幌地下歩行空間販売
札幌地下歩行空間販売
2月3日 健康診断
日高・胆振地方会 研修Ⅱ
生活介護 日帰り温泉旅行
札幌地下歩行空間販売
札幌地下歩行空間販売
3月14日 札幌地下歩行空間販売
3月28日 札幌地下歩行空間販売
3月31日 札幌地下歩行空間販売
みらいえ
12月19日 夕張高等養護学校学校視察
12月20日 クリスマス会・忘年会
1月6日 新年会
10日 マイクロバス納車
29日 避難訓練
2月3日 豆まき
5日 雪祭りの見学 6日

各施設の予定

3月14日 バレンタインイベント
3月26日 後期健康診断
3月26日 ホワイトデーイベント
12月12日 スタッフ会議
12月25日 青葉会新年会(ホテルほくよう)
2月13日 スタッフ会議
3月16日 人権セミナー・利用者6名参加(札幌)
3月28日 利用者料理教室(あぶろ東町センター)
あぶろ 第二支援課
1月1日 未帰省者初詣(町内)
2月17日 28日 文教大実習生受け入れ
2月28日 ケアホームのあ引き渡し
3月3日 新任職員説明会
4月1日 ケアホームのあ 開所
はあもにい(法人本部)
12月27日 辞令交付式
1月6日 年頭所感
2月1日 法人職員集面面接
3月3日 消防機器保守点検
3月4日 全道施設長会議
4月19日 平成25年度第4回評議委員会
4月1日 平成26年度辞令交付式
法人役員・職員交流会

愛泉園
5月 花見
7月 避難訓練
7月 屋外調理・屋外活動
5月 ポプリ仲間の会総会
ななかまど店舗 22周年記念セール
ヨモギ採取
6月 白老牛肉祭りの販売
みらいえ
4月 農園作り
5月 中庭フランチ作り
6月 いちご狩り
前期健康診断
避難訓練
7月 さくらんぼ狩り
あぶろ 第一支援課
4月17日 スタッフ会議
あぶろ 第二支援課
4月下旬 GW利用者帰省対応

新任職員紹介

愛泉園
H26・3・1 佐藤 廣子(さとう ひろこ)
ポプリ
H26・4・1 波多 真奈代(はた まなよ)
みらいえ
H26・4・1 加藤 有佳子(かとう ゆかこ)
※ポプリ兼務
あぶろ 第一支援課
H26・4・1 角原 ツヤ(かくはら つや)
あぶろ 第二支援課
H26・4・1 尾形 浩範(おがた ひろのり)
H26・4・1 井上 陽介(いのうえ ようすけ)
H26・4・1 富澤 晃平(とみざわ こうへい)
H26・4・1 佐々木 康次(ささき やすじ)
H26・4・1 田邊 順子(たなべ ゆきこ)
H26・4・1 三浦 さえ子(みうら さえこ)
H26・4・1 大倉 由美(おおくら ゆみ)

今野先生 本寄贈

平成7年4月より当法人の事業所嘱託医として勤務されました医療法人社団玄洋会道史佐藤病院精神科「今野陽三医師」がこの度平成26年3月をもってご退任されました。この間利用者の皆さんの精神神経医療面での支援にご尽力戴きました。また、ご自身の著書をご寄贈いただきました。心よりお礼を申し上げ今後の更なるご活躍を祈念申し上げます。



日本財団助成金

3月14日、日本財団より助成を受けて購入した福祉車両2台が納車されました。白老宏友会では事業規模が拡大されている中、多くの方がサービスを利用され、送迎用車両も不足していることもあり、今回の2台の購入は大変有意義なものになりました。謹んでお礼申し上げます。



編集後記

冬の寒さも和らぎ、徐々にではありますが緑が芽を出し始めました。本誌の中には様々な行事の写真の他、個人にスポットを当てた特集を掲載しています。この機会に皆様の取り組みや頑張りをより多くの方々に知っていただけると幸いです。新年度でもありますが季節の変わり目です。皆様の健康を願ってあとがきとさせていただきます。

機関紙「はあもにい」編集委員

久保田 将人